

令和7年度補正予算・令和8年度補正予算 重点支援地方交付金の活用状況について

北海道幌延町

■実施状況

＜令和8年8月時点＞

	令和7年度補正予算	令和8年度補正予算
交付限度額	5941 万円	261 万円
うち令和7年度 交付決定額	5941 万円 (100%)	—円 (—%)
うち令和8年度 交付決定額	0 円 (0%)	261 万円 (100%)
残額	0 円 (0%)	0 円 (0%)

■主な事業概要 ※規模の大きい事業を最大5つ程度記載（詳細は別途実施計画をご覧ください）

生活者支援

◆食料品等物価高騰対応給付金事業 事業費：2,145万円（R7補正活用） ※食料品特別加算を活用

食料品等の物価高騰が続く中、全世帯1世帯あたり1万円及び全町民1人あたり2千円を給付するとともに、65歳以上の高齢者には、1人あたり5千円を加算し、物価高騰による負担軽減を図る。

事業者支援

◆幌延町配合飼料価格高騰緊急対策事業 事業費：3,000万円（R7補正を活用）

配合飼料価格の高止まりが続く中、国の配合飼料価格安定制度は、価格の急騰には対応するが、恒常的に物価高が続く近年においては、補填金が発動されないなど、物価高騰による厳しい酪農・畜産経営環境が続いているため、配合飼料価格安定制度に加入する酪農・畜産経営者に対し、配合飼料供給安定基金の農家拠出金相当額（37,500t×800円）を補助することにより、経営の安定化を図るとともに、生産意欲の低下を抑制し、生産体制を維持する。

◆物価高騰対策事業者緊急支援事業 事業費：661万円（R7補正を活用）

物価高騰により、町内事業者全般に広く影響を受け、地域内消費の低下を招くなど依然として厳しい状況にある。特に燃料や車両資材等が高騰している運送事業者にとって大きな負担となっているため、所有車両台数に応じた支援を実施する。また、価格転嫁が十分に進まない中で、利益の減少を余儀なくされている事業者も多いことから、事業の継続と経営の安定化を図るため、支援金を給付する。

①運送事業者事業安定対策支援給付金

貨物自動車（大型）：40千円／台、貨物自動車（中型）：25千円／台、貨物自動車（小型）：15千円／台、旅客自動車：25千円／台、
貨物自動車（軽貨物）：15千円／台、その他事業用（白）：15千円／台

②事業者事業継続支援給付金 法人事業者：100千円、個人事業者：70千円

◆幌延町強い農業・担い手づくり支援事業 事業費：3,000万円（R8補正を活用）

物価高騰が続く中で、配合飼料価格の高騰や生乳の需給緩和による増産抑制、個体販売価格の下落等により、農業経営が逼迫され、農業生産基盤の維持や次世代農業者への円滑な経営継承が課題になっていることから、次世代に向けての生産基盤の再整備、持続可能な生乳・肉用牛の生産維持を図るため、農業経営を営む法人及び個人に対し1件5,000千円を上限に農業生産施設の補修や機械装置の更新に対して支援する。

※事業費の全部又は一部に本交付金を充当予定